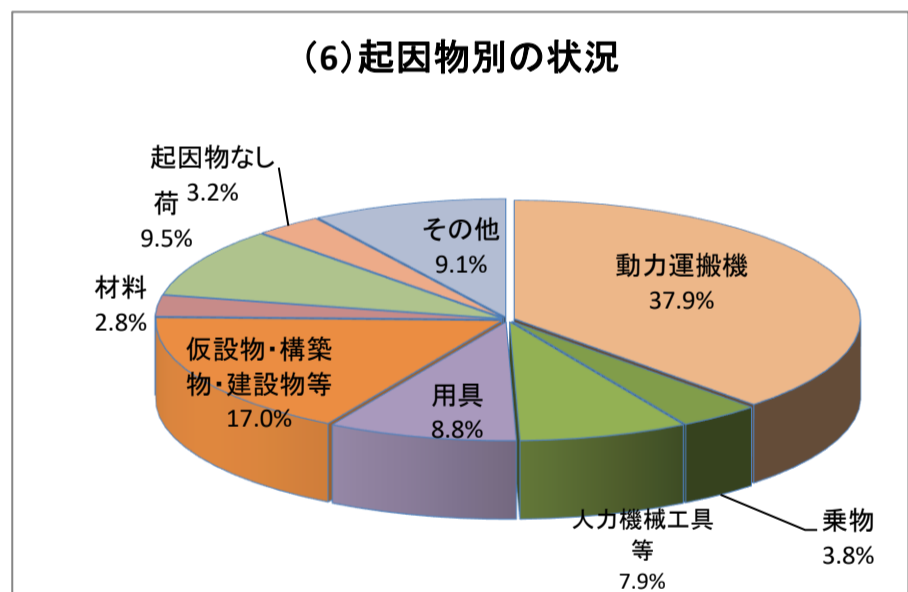
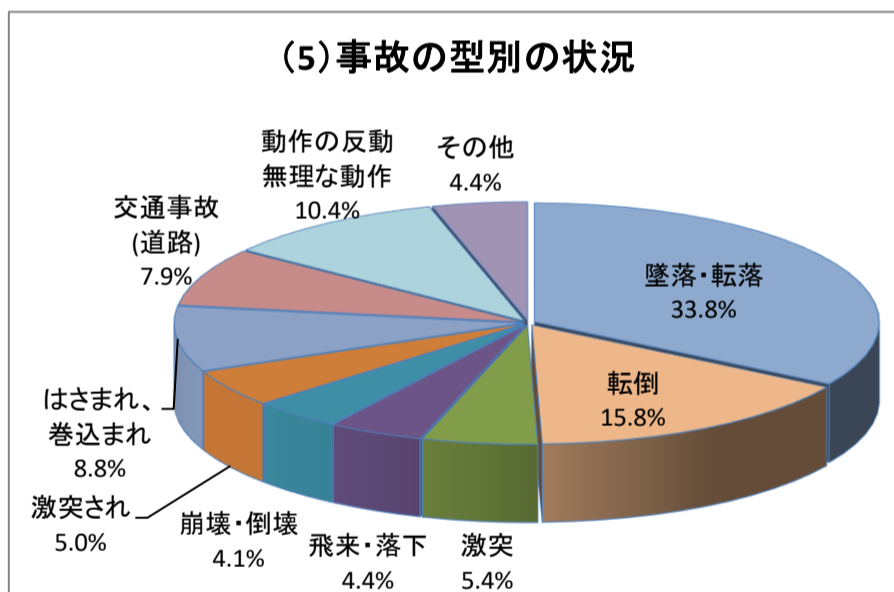
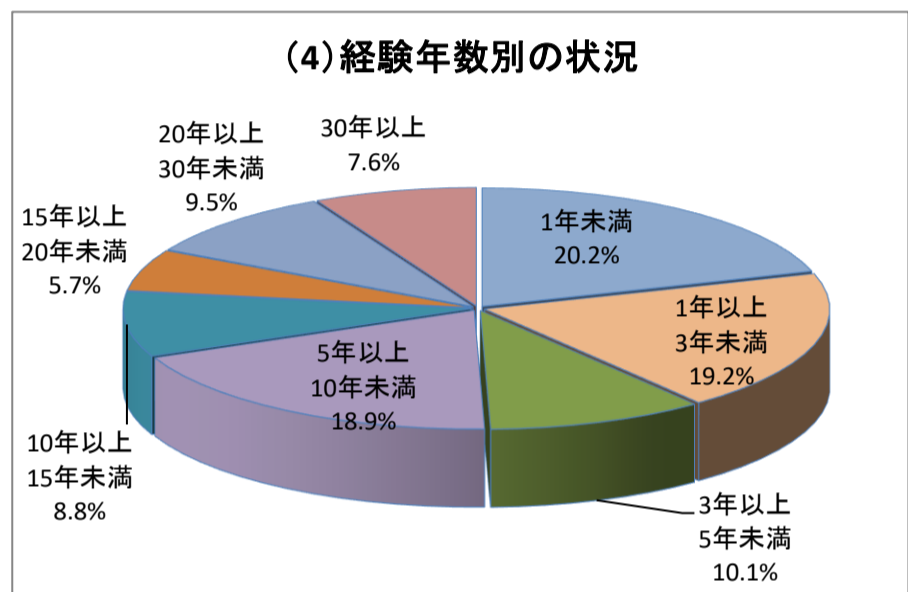
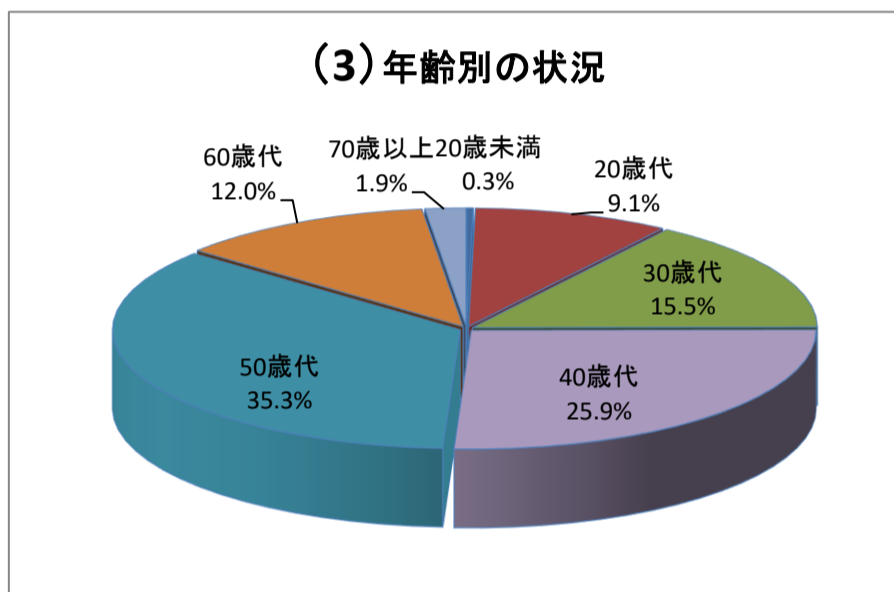
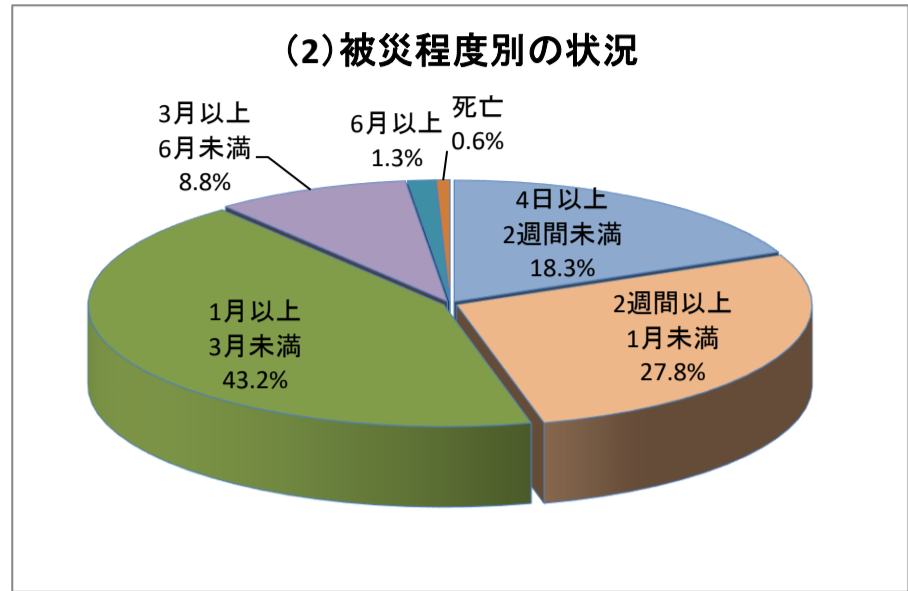
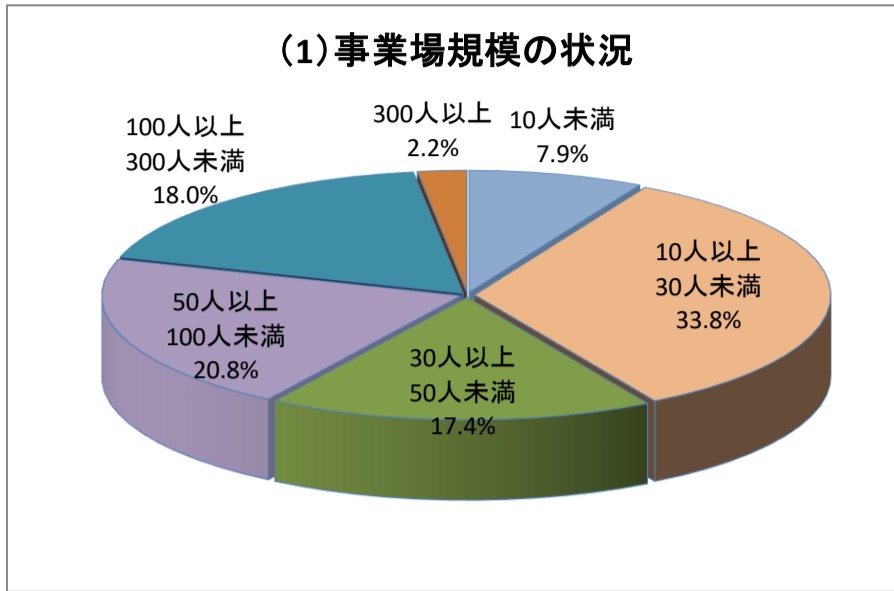


## 15.陸上貨物運送事業における労働災害発生状況(令和2年)

(陸上貨物運送事業:317人)



- 事業場規模別では、「10人以上30人未満」の事業場が33.8%と最も多く、次いで「50人以上100人未満」が20.8%、「100人以上300人未満」が18.0%の順となっている。「50人未満」の事業場が59.1%を占めている。
- 被災程度別では、休業日数「1月以上3月未満」が43.2%と最も多く、次いで、「2週間以上1月未満」の災害が27.8%となっている。休業日数「1月以上」の災害の割合は53.9%である。
- 年齢別では、「50歳代」が35.3%と最も多く、次いで「40歳代」が25.9%の順となっている。60歳以上が15.2%となっている。
- 経験年数別では、「1年未満」が20.2%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が19.2%、「5年以上10年未満」が18.9%の順となっている。
- 事故の型別では、「墜落・転落」が33.8%と最も多く、次いで「転倒」が15.8%、「動作の反動・無理な動作」が10.4%、「はさまれ・巻き込まれ」が8.8%の順となっている。
- 起因物別では、「動力運搬機」(トラック、フォークリフト等)が37.9%と最も多く、次いで「仮設物、建築物、構築物等」(通路、階段等)が17.0%、「荷」が9.5%の順となっている。